

Adonis アドニス [ふくじゅ草]



北海道看護協会 北網支部ニュース

2019（令和元）年 12 月 編集責任者：山下 幸恵

北網支部では、研修会や交流会を通じて会員間の交流と連携を図り、地域住民のニーズに応えられるような支部活動を目指しています。今年度 2 回目の掲載となりますが、今号では施設間交流研修、支部企画研修「認知症高齢者ケア」の様子をご紹介します。

また、看護協会会員入会率向上を目指し、看護協会への入会募集ポスターを支部で作成し、三職能交流会・支部大会資料に同封していますのでご活用していただけると光栄です。

研修

Report

施設間交流研修

施設間交流研修に参加して学んだこと

北見赤十字病院 米野 隆晶

私は今回網走地域訪問看護ステーションで研修させていただき、利用者さん 3 名への同行訪問や、訪問看護師さん方から貴重なお話を伺うことができました。

当ステーションでは医療ニーズの高い利用者さんはごく一部で、認知症の予防ケア、服薬管理など日常生活支援が主な援助内容でした。その背景には往診医不足で在宅見取りの体制が十分に整っておらず、医療ニーズが高くなる時には入院のタイミングとなることが多いことがわかりました。また、訪問看護師が来ると「顔を見ると安心した」と利用者さんが言ったり、祝日等訪問看護師が対応することで、北見や美幌等近郊の病院を受診しなくても済んでいるという家族の話から、地域特性を踏まえた訪問看護の位置づけとその重要性を学ぶことができました。短時間でしたがとても充実した研修となりました。お忙しい中、研修にご協力いただいた網走訪問看護ステーション所長村井様を始めスタッフの方々に感謝いたします。



活動 報告

支部企画研修「認知症高齢者ケア」

2019（令和元）年 9月28日

広報委員 栗原 和男

令和元年9月28日、北見赤十字病院にて認知症高齢者ケア研修会が行われました。研修の内容として、講義「加齢による心身の変化」「認知症の基礎知識」にて正しい知識により認知高齢者を理解することから看護が始まることが学べました。また知識だけではなく、装具を使用した「高齢者疑似体験」を行うことにより高齢者の加齢による身体的変化について実感することができました。体験者からは、視界が狭く行動が制限され、歩行が不安定であるといった感想が述べられていました。その後の講義「その人の思いを大切にしたケアとは」では、認知症高齢者その人の生活背景を考えた適切な対応がとても大切だと感じました。講義終了後、グループワークにて事例検討が行われ、全体発表にて、認知症高齢者の訴えや行動を否定することなく受け止め、認めることが大切だと実感できました。

今回の研修にて、認知症高齢者に対して改めて疾患の理解を深めることがきたと共に、ケアの振り返り、実際の援助について学ぶことができました。



お知らせ

- ・2020（令和2）年2月8日（土）
会場：オホーツク文化交流センター 2階 大会議室
- ・「2019（令和元）年度北網支部大会」
- ・「三職能交流会」

編集後記

Adonis(アドニス)【ふくじゅ草】のご愛読ありがとうございます。今年度は2回目の発行ですが、どうしたら読みやすい原稿や構成ができるのか委員共々奮闘しながら広報活動を行っていますが、いかがでしたか。今後も皆様に関心を持てる支部活動を行いたいと思いますので、ご理解とご協力よろしく申し上げます。

北網支部広報委員：村上・栗原・伊藤